



八王子盲学校だより

令和8年10月発行 第6号
東京都立八王子盲学校長 田島 由紀子



災害に備える

副校長 落合隆一

今年の夏は、熊本で大きな地震があったほか、千葉では豪雨による大きな被害が出るなど、自然災害の恐ろしさをあらためて感じました。先日も、大型の台風により、道路の冠水や土砂崩れ等の被害が関東各地で発生し、災害は決して他人事ではないことを改めて認識しました。

本校では、9月に引き渡し・下校訓練を実施し、10月には総合防災訓練を予定しています。日頃の避難訓練では、仮校舎内の環境の把握が進み、避難の動きは比較的スムーズになっていますが、突発的な状況の中、慌てずに対応するには、決して慣れてしまわず、訓練を積み重ねていくことが必要です。

視覚障害のある幼児・児童・生徒にとって、災害時には特に「情報」と「移動」のハードルが上がります。校内での発災時は、非常ベルの音によって放送の言葉が聞き取りづらくなりますし、豪雨時は傘と白杖で手が塞がる中、雨音によって環境音の把握がしづらくなり、大きな水たまりなどの状況もわからない中で移動が必要になります。日常との違いを踏まえた行動が求められます。

昨年度の総合防災訓練で、消防署の方から、火災時の避難では姿勢を低くすることなどの助言をいただきました。それを訓練の中で身に付けていくことは「自助」につながります。また、本校においては「自助」だけで解決しようとするのではなく、適切に近くの人を探し、協力し合って避難する「共助」の考え方がより大切になると考えます。そういった点も踏まえ、訓練を継続していけると良いと考えています。

現在は仮校舎のため、比較的環境が把握しやすく、避難するまでの経路も短く済んでいます。その環境に慣れてしまうことなく、学校全体の防災意識を高めてまいります。

学校敷地内の樹木伐採について

今年度春に都内でのサクラ等の樹木の倒木が複数発生したことを受け、東京都は、都立学校を含む都立施設の樹木について緊急点検を行いました。本校でも、樹木医の診断を含めた点検を受けたところ、本校敷地南側、東側の一部の樹木について、倒木の危険があるとの結果が確認されました。

本校幼児・児童・生徒のみならず、近隣の皆様の安全を考え、当該の樹木については伐採の対応を進めさせていただきます。

時期等については未定です。詳細わかり次第あらためて周知等対応させていただきます。これまで幼児・児童・生徒の門出や新生活を彩ってくれていた樹木の伐採は非常に残念ですが、診断結果を踏まえての安全対策について、御理解のほど、よろしくお願いいたします。

令和8年度六光祭について

本校では現在仮校舎において教育活動を行っております。限られた設備やスペースではございますが、なるべく多くの皆様に楽しんでもらえる文化祭(六光祭)となるように、生徒の実行委員を中心に全校で取り組んでいます。是非、御誘いあわせの上、お越しください。

日 時 令和8年10月31日(土)

午前の部 9:15~11:30 ステージ発表、模擬店、展示発表

(受付 9:00~11:25)

午後の部 13:30~14:40 模擬店、展示発表

(受付 13:25~14:20)

会 場 東京都立八王子盲学校



- * 駐車場がありませんので、お車での御来場はご遠慮ください。
- * 学校敷地内は全面禁煙です。
- * 開会式、閉会式につきましては、会場の収容人数の都合により幼児・児童・生徒および教職員の参加とさせていただきます。
- * 当日のタイムテーブルは、今後、変更の可能性があります。ご承知おきください。

本校のICT活用の取組について

本校では、視覚障害のある児童・生徒一人一人の見え方や学習状況に応じて、ICT機器を活用した教育を推進しています。

小学部・中学部では、国の「GIGAスクール構想」に基づき、一人1台の端末が貸与されています。本校では主にiPadを活用し、学習アプリやインターネット検索、PDF版拡大図書、デジタル教材などを用いた学習を行っています。また、アクセシビリティ機能を活用しながら、情報活用能力の育成にも取り組んでいます。高等部普通科・保健医療科では、東京都の「スマートスクール構想」に基づき、学校指定の端末を活用しています。文書作成や表計算、クラウドサービスを利用したファイル管理などを学び、進学や就労を見据えた力を育んでいます。

Microsoft TeamsやOneDriveを活用し、授業資料の共有や課題提出、学習成果の保存を行っています。また、オンラインによる交流学习や合同授業にも取り組み、対話的・協働的な学びの充実を図っています。

視覚障害教育ならではのICT活用として、画面拡大機能や音声読み上げ機能、点字ディスプレイなどを活用しています。児童・生徒が自分に合った方法で情報を取得し、発信できるよう支援しています。

近年、デジタル教科書の活用が進められる中、本校でも導入に向けた校内検討を進めています。拡大表示や音声読み上げ機能などの特長を生かし、児童・生徒一人一人の教育的ニーズに応じた効果的な活用方法について研究を行っています。

今後も、本校が培ってきた視覚障害教育の専門性を生かしながら、ICTの活用による個別最適な学びと協働的な学びの充実を図り、児童・生徒一人一人の可能性を広げる教育を推進してまいります。

(ICT担当 二方 宏和)